CP800 / CP1000 / CP1200 / CP1400

USER'S MANUAL
日本語版

株式会社 サウンドハウス
〒286-0825　千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
http://www.soundhouse.co.jp　shop@soundhouse.co.jp

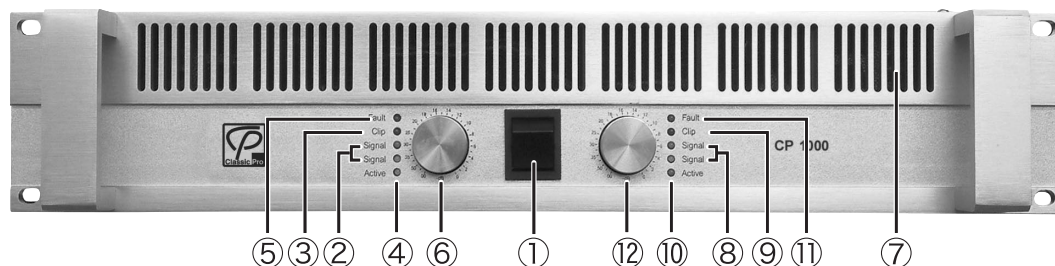
はじめに

この度は、CLASSIC PRO CPシリーズステレオ・パワーアンプをお買い上げ頂き、誠に有り難うございます。パワーアンプの性能をフルに発揮させ、末永くお使い頂く為に、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。尚、本書が保証書となりますのでお読みになった後は大切に保管して下さい。

ご使用の前に

1. この取り扱い説明書に従って操作して下さい。
2. 水には大変弱いので、雨などがかからないよう充分ご注意下さい。
3. 内部には精密な電子部品が多数実装されています。移動及び輸送時には大きな衝撃が加わらないようにして下さい。
4. 本機の設置場所は直射日光の当たる場所やストーブの直前など、高温になりやすい場所を避け、なるべく通気性の良い場所で御使用下さい。
5. 定格電圧AC100V、50/60Hzで御使用下さい。
6. 電源コードは機材への挟みこみ等、無理な力が加わらない様御注意下さい。
7. 信号の入出力端子に許容範囲を越える異常電圧が加わらない様にして下さい。

故障や感電事故を防止すると共に、性能を維持する為にも、ケースを開けて内部に触れたりしないでください。修理が必要な時には、販売店までお問い合わせください。

フロント・パネル

1. 電源スイッチ
本体の電源をON/OFFします。ON/OFFの際はゲインコントロールを最小限まで下げてから電源を入れて下さい。機材の電源を入れる順番は楽器、次にミキサー、最後に問題なくすべての電源が入っていることを確認してからアンプの電源を入れて下さい。

2. シグナル・インジケーター（チャンネル 1）
音声信号の入力レベルに応じて、2段階の緑色のLEDが点灯します。

3. クリップ・インジケーター（チャンネル 1）
チャンネル1への信号がオーバーロードしてクリッピングが発生すると、赤のインジケーターが点灯します。このままの状態ではチャンネル1の音声信号は歪んでしまいますので、接続しているミキサー等の機材の出力レベルを下げ、過大入力を防いでください。

4. Activeインジケーター（チャンネル1）
Activeインジケーターはパワーアンプをオンにした際、緑色に点灯し、パワーアンプが使用できる状態になっていることを表示します。

5. FAULTインジケーター（チャンネル1）
このFAULTインジケーターは、プロテクト回路が出力ショートやDC漏れを検知した際、赤色に点灯します。赤色のまま点灯し、復帰しない場合はサービスセンターにお問合せ下さい。

6. ゲイン・コントロール（チャンネル 1）
このツマミでチャンネル１の出力信号を調節します。右回りに回すと出力レベルが上がります。

7. 冷却用通気孔
この通気孔から空気を取り入れることにより、本体の過熱を防ぎます。通気孔はふさいだりせず、常に清潔に保って下さい。

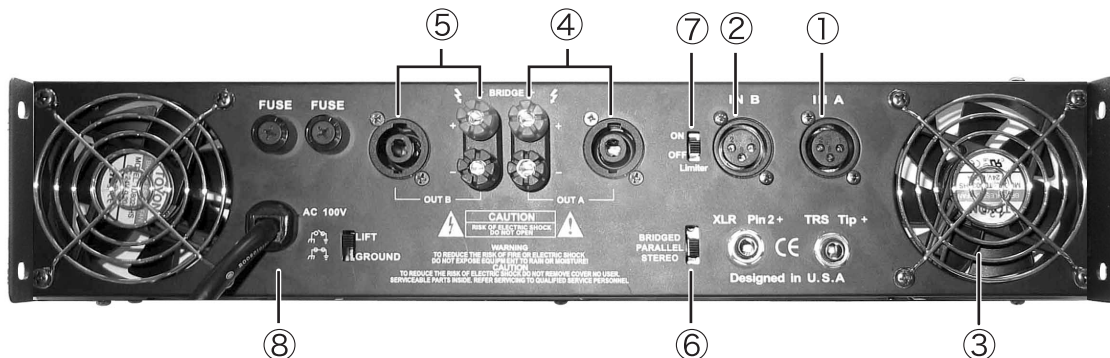
8. シグナル・インジケーター（チャンネル 2）
音声信号の入力レベルに応じて、2段階の緑色のLEDが点灯します。

9. クリップ・インジケーター（チャンネル 2）
チャンネル2への信号がオーバーロードしてクリッピングが発生すると、赤のインジケーターが点灯します。このままの状態ではチャンネル2の音声信号は歪んでしまいますので、接続しているミキサー等の機材の出力レベルを下げ、過大入力を防いでください。

10. Activeインジケーター（チャンネル2）
Activeインジケーターはパワーアンプをオンにした際、緑色に点灯し、パワーアンプが使用できる状態になっていることを表示します。

11. FAULTインジケーター（チャンネル2）
このFAULTインジケーターは、プロテクト回路が出力ショートやDC漏れを検知した際、赤色に点灯します。赤色のまま点灯し、復帰しない場合はサービスセンターにお問合せ下さい。

12. ゲイン・コントロール（チャンネル2）
このツマミでチャンネル2の出力信号を調節します。右回りに回すと出力レベルが上がります。

リア・パネル

1. チャンネルA入力

XLRとTRSフォン・プラグを接続できる音声信号の入力端子です。TRSフォン端子はアンバランスフォン・プラグも使用可能です。また、それぞれの端子は並列接続になっておりますので、片方を入力、もう片方をライン出力用の端子として使用する事ができます。

TRSフォンプラグ設定：**TIP/**プラス、**RING/**マイナス、**SLEEVE/**アース
XLR端子設定：**PIN3/**マイナス、**PIN2/**プラス、**PIN1/**アース

2. チャンネルB入力

XLRとTRSフォン・プラグを接続できる音声信号の入力端子です。TRSフォン端子はアンバランスフォン・プラグも使用可能です。また、それぞれの端子は並列接続になっておりますので、片方を入力、もう片方をライン出力用の端子として使用可能です。

TRSフォンプラグ設定：**TIP/**プラス、**RING/**マイナス、**SLEEVE/**アース
XLR端子設定：**PIN3/**マイナス、**PIN2/**プラス、**PIN1/**アース

3. 排気口

ツイン・スピードの冷却ファンによりアンプ使用時に内部を冷却します。前面の吸気口をふさいだり、密閉されたラックにマウントしないでください。アンプのオーバーヒート、故障の原因になります。

4. チャンネルAスピーカー出力（5ウェイ・バインディングポスト及びスピコン）

チャンネル1のスピーカー出力です。接続方法は7ページ目のセットアップを参照してください。

5. チャンネルBスピーカー出力（5ウェイ・バインディングポスト及びスピコン）

チャンネル2のスピーカー出力です。接続方法は7ページ目のセットアップを参照してください。

6. モノラル・ブリッジ/ステレオ/パラレル切り替えスイッチ

このスイッチでステレオ、モノラル・ブリッジ、パラレルモードの切替を行います。スイッチをBRIDGEにスライドさせればモノラル・ブリッジモードに、中央のPARALLELにすると1chと同じ信号が2chに流れるパラレルモードに、一番下のSTEREOに位置で通常のステレオモードになります。

7. LIMITER スイッチ

このスイッチをONにすると音声の過大入力を抑え、スピーカーを保護します。

8. A/C電源入力

このケーブルを標準100V電源コンセントに挿入してください。必ずアンプの定格電圧及び電流と合致していることを確認してください。

オペレーティング・モード

1. ステレオ・モード
まず音源ソースの入力端子をアンプのチャンネル１、およびチャンネル２に接続してください。次にアンプ背面にある出力端子にスピーカーを接続します。この時、フロントパネル上にあるゲイン・コントロールが最小レベルまで下げられているのを確認してください（最も左回りの状態)。アンプの電源を入れます。次に入力ソースの出力レベルを上げます。出力音量を調節するには、フロントパネル上にあるゲイン・コントロールを使います。出力音量は、クリッピングが発生しない程度に上げてください。ただし、クリップ信号が時々点灯する程度であればOKです。

2. モノラル・ブリッジ・モード
アンプを含めすべての音響機材の電源がOFFであることを確認してください。ステレオ/モノラル・ブリッジ・スイッチをモノラル・ブリッジに切替えます。次に入力信号をチャンネル１に接続してください。次にアンプ背面に配置された、赤い出力バインディング・ポストの端子にスピーカーを接続します。ここで音響機材の電源をONにしてください（アンプの電源は最後に入れるようにしてください）。アンプに入力ソースの信号を送信します。アンプの出力レベルを調節するには、チャンネル1のゲインを操作してください。
モノラル・ブリッジ・モードでCPシリーズアンプを使用した場合、出力端子の電圧は全体で100V以上に達し、時にはそれ以上に高電圧になることもあります。よって配線は、完全に絶縁されたスピーカーケーブルを使ってください。またスピーカーのインピーダンスは4Ω以上になるようにしてください。

3. パラレルモード
1chに接続した信号と同じ信号が2chにも流れます。スピーカーの接続方法はステレオモードと同じです。1系統のモニターの信号を2つのスピーカーに振り分ける際に便利です。

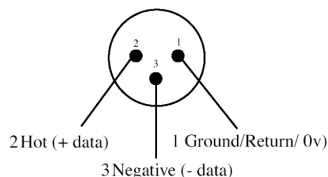
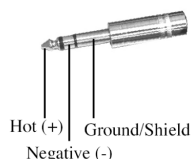
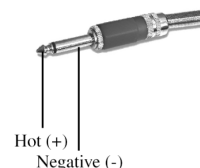
セットアップ

1. 入力端子

CPシリーズは１チャンネルにつき、2種類の入力コネクターが装備されています。XLR端子はバランス仕様対応です。TRSフォン端子はバランス/アンバランス・コネクターの両方に対応しています。これらの接続端子を使い、ミキサーやチャンネルデバイダー等の出力端子をCPシリーズの入力端子に接続します。5メートルを超えるケーブルを使用する場合、バランス仕様による接続をお勧めします。5メートル以内のケーブルの場合、アンバランス仕様のフォン端子も使用できます。既成のケーブルが多数出回っている為、アンバランス仕様のフォン入力は手軽な接続方法ともいえます。またそれぞれの端子は並列接続になっておりますので、片方を入力、もう片方を出力用の端子として使用する事ができます。

使用例：XLRケーブルをチャンネル１入力に接続します。チャンネル１フォン入力端子に接続したケーブルを、他のアンプのチャンネル１入力端子に繋いでパラレル接続をすることができます。

Male XLR Pin Configuration:
US ITT Standard

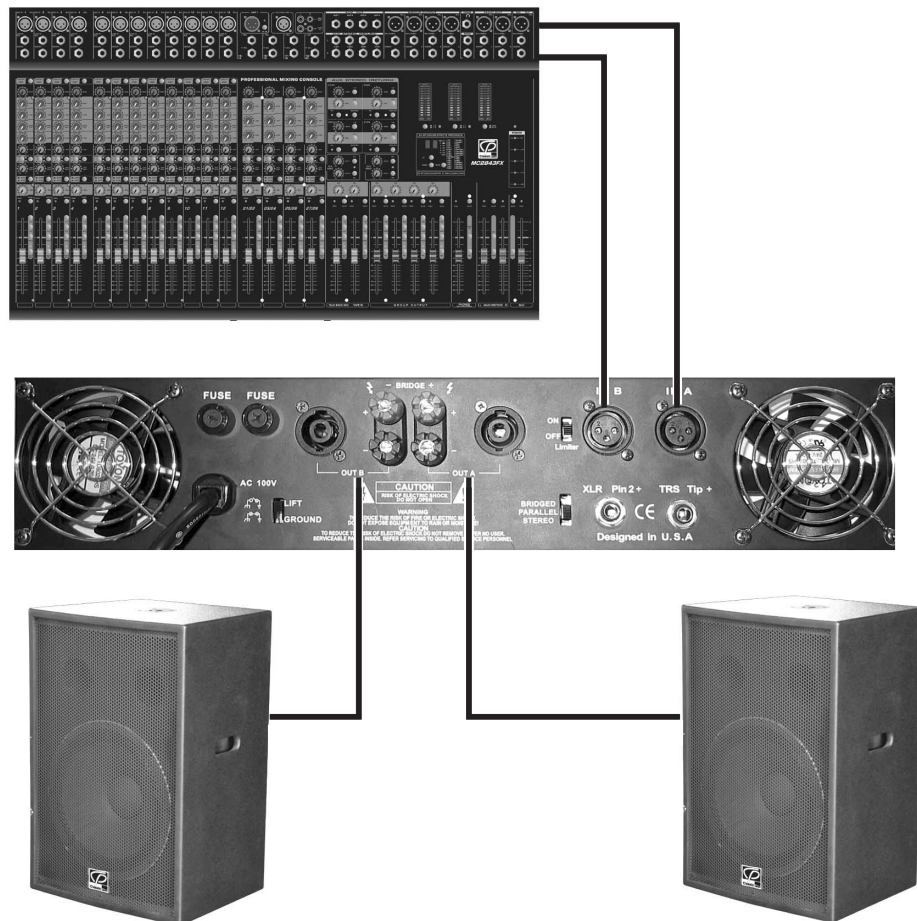
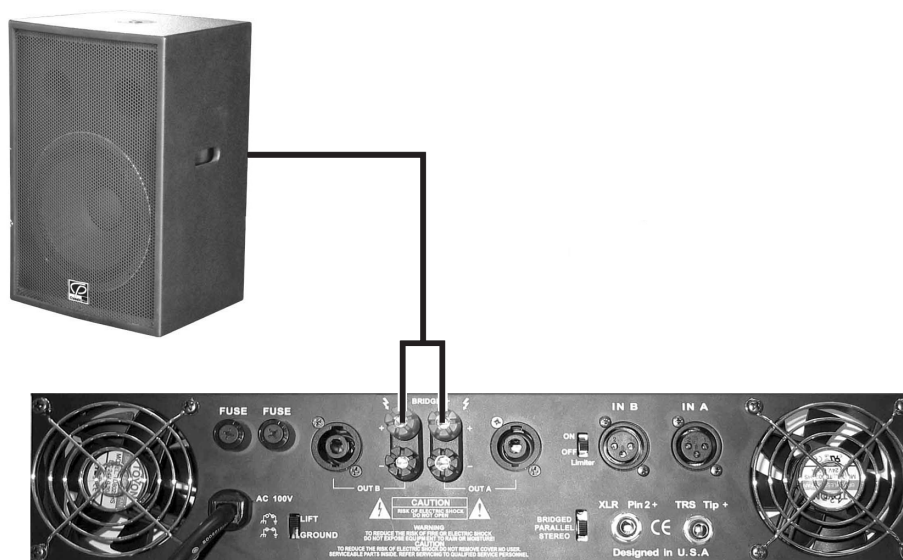
2 Hot (+ data)
1 Ground/Return/ 0v)
3 Negative (- data)

Balanced TRS 1/4” Plug

Unbalanced TS 1/4” Plug

2. 出力端子

・5WAYバインディング・ポスト/バナナプラグ

アンプ背面にあるバインディング・ポスト出力端子に、スピーカーを接続します。ステレオ、パラレルモードの場合、チャンネル１およびチャンネル２出力端子に接続します。
ステレオモードの場合、スピーカーケーブルのマイナス（ー）をバインディング・ポストの黒端子に、プラス（＋）を赤端子に接続するようにして下さい。モノラル・ブリッジ・モードの場合、チャンネル１およびチャンネル２の赤ターミナル双方に接続してください。正しい極性設定はスピーカーの位相不一致を防ぎ、結果として低音が損なわれることを防止します。

・スピコン端子

アンプ背面にあるスピコン端子に接続します。スピコンは1番の+ーで配線されたものをご使用下さい。スピコン端子を差し込んで右に回すとロックされます。ステレオ、パラレルモードの場合、チャンネル１およびチャンネル２出力端子に接続します。

PAシステムにおけるステレオ・セットアップ例

PAスピーカーを使用したモノラル・ブリッジ接続例

スペック

	CP800	CP1000	CP1200	CP1400
ステレオ出力 (2Ω)RMS	450W+450W	680W+680W	700W+700W	1000W+1000W
(4Ω)RMS	380W+380W	620W+620W	650W+650W	900W+900W
(8Ω)RMS	240W+240W	340W+340W	450W+450W	560W+560W
ブリッジ出力 (4Ω)RMS	900W	1100W	1300W	1500W
(8Ω)RMS	740W	1000W	1200W	1400W
周波数特性(±0.3dB)	20Hz～20kHz	20Hz～20kHz	20Hz～20kHz	20Hz～20kHz
スルーレート・ステレオ	40V/μsec.	40V/μsec.	40V/μsec.	50V/μsec.
全高調波歪	0.05%以下	0.05%以下	0.05%以下	0.05%以下
入力感度	+4dBu	+4dBu	+4dBu	+4dBu
入力インピーダンス	20kΩ(バランス)10kΩ(アンバランス)			
ダンピングファクター	300	300	350	400
ハム&ノイズ	-103dB	-103dB	-103dB	-103dB
クロストーク	<60dB	<60dB	<60dB	<60dB
入力端子	XLR&TRSフォン×2			
出力端子(スピーカー)	5WAYバインディングポスト、スピコン			
冷却機構	2スピードDCファン×2			
保護回路	DC検出、電源ON/OFFミューティング、ショートサーキット、オーバーロード･保護回路			
消費電力	290W	370W	580W	660W
サイズ	48.3W×8.9H×40Dcm、2U			
重　量	15kg	17.7kg	19.5kg	20.7kg

保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より１年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より1年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。
但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適当（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用
通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）
初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。 RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項
サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。